

平成30年3月20日

平成29年度 第3回 大阪市立常盤小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立常盤小学校
 校長名 三島 公德

日 時	平成30年3月20日（火） 午後5時00分～午後6時45分	
場 所	大阪市立常盤小学校 多目的室	
出席者	委員など	坂口佳史（会長） 久森茂樹（委員） 高岡祥介（委員） 福田雅史（委員） 藤田実由貴（委員） 蔭山純子（委員）
	校 園	三島公德（校長） 林真美子（副校長） 望月幹雄（教頭） 辻野拓也（教務主任）
	区役所	糸井課長
	議題	（1）運営に関する計画 最終評価について （2）学校改善に向けた意見交換について （3）その他
協議要旨	協議の結果	
	（1）	取組内容及び達成状況について了承された。
		<p>・【子どもが安心して成長できる安全な社会の実現】については、目標通りに達成できた。校内調査における学校で認知したいじめについて、全て一定の解消を得られている。経年調査等における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的回答の割合が約1%目標に達せず、高学年になるにつれ減っている傾向にある。また、校内調査において暴力行為は前年度に比べ大きく減少している。防災・減災教育の推進については、計画通り、防犯・防災の指導や避難訓練、引き渡し訓練を実施できた。様々な場面や状況を想定して訓練を行うことで子どもたちの安全意識を高めることができている。新たに不登校になる児童は減少傾向にあるが、本人及び保護者への対応を継続し、不登校状態の改善に努めていく。</p> <p>・【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】については、達成状況をCとした。学力経年調査における全市共通目標において、本市の平均正答数を100とする標準化得点は、どの学年も110前後で、本市の平均を上回る得点ではあった。しかし、前年度と比較する経年調査の観点では、わずかながらポイントが減少している。学年や教科によって増減の差はあるが、どの学年も前年度と同程度の学力は身につけていると考えられるが、学習指導においては、学力経年調査の結果を今後の研究推進の視点に取り入れていく。</p>

	(2)	理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の状況について、生活習慣が不規則であるなど原因と考えられる要因は、様々である。子どもの状況について、学校だけでなく、地域や区役所など関係機関とも連携してサポートできる方法、など検討をすすめていく。 ・学力向上については、落ち着いて学習できる環境を整えることや指導方法についても検討していく。 ・タブレットの利用など I C T 教育環境については、ネット環境の整備、構築が必須となる。限られた条件下での I C T 機器の活用を今後も工夫していく。
	(3)	理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が連携した防災訓練について、まちなか防災訓練を実施できた。引き続き、開催方法など関係諸機関と相談しながら、継続実施していく。
協議資料	○ 「運営に関する計画」 最終評価について		
備考	傍聴者なし		